

ご使用の前に

デジタルフロースイッチ (表示一体型)

PF3W7□□-L

このたびはSMCデジタルフロースイッチ(表示一体型)PF3W7□□-Lシリーズをお買いあげいただきまして、誠にありがとうございます。
この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。お読みになった後も手元においてご使用ください。

本製品の取扱いに関する詳細な資料については、
当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)もしくは、
お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人の危害や損害を未然に防止するためのものです。
これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格(ISO/IEC)、日本産業規格(JIS)およびその他の安全法規に加えて、必ず守ってください。

注意: 取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみが発生が想定されるもの。

警告: 取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

危険: 切迫した危険の状態で、回避しないことと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
	禁止(しはけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で表示します。
	指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で表示します。

■取扱い者について

①この取扱説明書は、空気圧機器を使用した機械・装置の組立・操作・保守点検するかたで、これらの機器に対して十分な知識と経験をお持ちのかたを対象としています。
組立・操作・保守点検の実施は、このかたに限定させていただきます。
②組立・操作・保守点検に当っては、この本書をよく読んで内容を理解した上で実施してください。

■安全上のご注意

警告	
	■分解、改造(部品の組み替え含む)、修理は行わないこと かつ、故障の恐れがあります。
	■仕様範囲を超えて使用しないこと 引火性もしくは人体に影響のあるガス・液体には使用しないでください。 仕様範囲を超えて使用すること、火災・誤動作・製品破損の原因となります。 仕様を厳密にご確認ください。
	■可燃性ガス・爆発性ガスの雰囲気では使用しないこと 火災・爆発の恐れがあります。 本製品は、防爆構造ではありません。
	■引火性の液体および可燃性の高い液体に使用しないこと 火災や爆発・破損・腐食の恐れがあります。
	■静電気の帯電が顕著になる場所には使用しないこと システム不具合や故障の原因になります。
	■インターロック回路に使用する場合は ・別系統による(機械式の保護形態など)多重のインターロックを設けること ・正常に動作していることの点検を実施すること 誤動作による、事故の恐れがあります。
	■保守点検をするときは ・供給電源をオフにすること ・供給している流体を止め、確認すること けの恐れがあります。

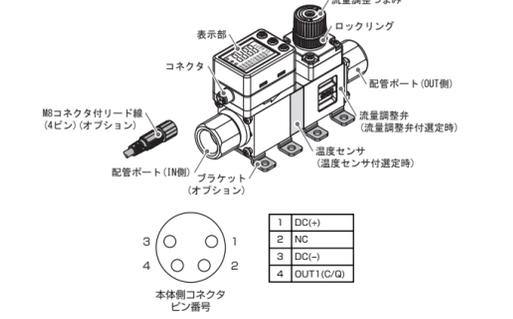
注意	
	■高電圧中は、コネクタに触らないこと 通電中に端子がコネクタに触ると、感電・誤動作・製品破損の恐れがあります。
	■高温流体使用時に配管接続部や配管に触らないこと やけどの恐れがあります。 配管が冷えたことを確認してから触ってください。
	■保守点検終了後に適正な機能検査、漏れ検査を実施すること 正常に機能が動作しない、漏れがあるなどの異常の場合は運転を停止してください。 配管漏れ以外の漏れが発生した場合、製品自体が破損している場合があります。 電源を切断し、流体の供給を停止してください。 漏れがある状態で絶対に流体を流さないでください。 意図しない誤動作により、安全が確保できなくなる可能性があります。

■取扱い上のお願い

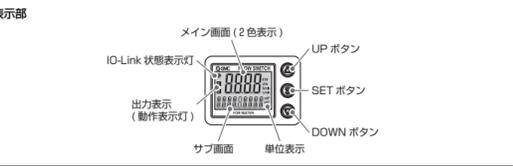
- ・組合せる直流電源は、以下のUL認定品をご使用ください。
UL1310に従うクラス2電源ユニット、またはUL1585に従うクラス2トランスを電源とする最大30[Vrms] (42.4[Vピーク])以下の回路(クラス2回路)
- ・製品本体および銘板に、、マークのある場合のみ、、認定品となります。

製品各部の名称とはたらき

本体



名称	機能
コネクタ	リード線を接続する部分です。
MBコネクタ付リード線	製品に電源を供給したり、出力を得るためのリード線です。
配管ポート部	配管を接続する部分です。IN側に流入側、OUT側に流出側の配管をします。
ブラケット	製品を設置するための取付金具です。
流量調整弁	流体の流量を検出する部分です。
流量調整つまみ	流量を調整するためのつまみです。
ロッキングリング	流量調整つまみを固定するときに使用します。
表示部	流量値、設定値、エラー表示などを表示する部分です。下図を参照ください。



名称	機能
メイン画面(2色表示)	流量値、設定モードの状態、エラーコードなどを表示します。
サブ画面	精算値、設定値、ピーク・ボトム値、流体温度、ライン名を表示します。 測定モード時では設定状態を表示します。
出力表示(動作表示灯)	OUT1、OUT2の出力状態を表示します。ON時：緑色点灯
単位表示	選択されている単位を表示します。
UPボタン	モード選択、サブ画面の表示選択、ON/OFF設定値を増加させます。
SETボタン	各モードの選択、設定値の確定に使用します。
DOWNボタン	モード選択、サブ画面の表示選択、ON/OFF設定値を減少させます。
IO-Link状態表示灯	OUT1をIO-Linkモードで使用する場合、点灯します。(SIOモード時は消灯)

取付け・設置

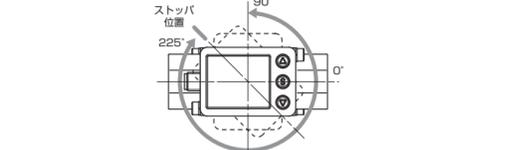
詳細なデータについては、製品カタログもしくは当社ホームページ
(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただけますのでご利用ください。

■設置について

- ・使用圧力範囲内および使用温度範囲内で必ずご使用ください。
- ・流体温度によって耐圧力が変わりますので、使用圧力と耐圧力のグラフを確認ください。

■取付けについて

- ・スイッチは、定場になる場所には取付けないでください。
- ・流体の流れの方向は、本体側面の矢印に示されている方向に合わせて取付けてください。
- ・製品のIN側(流入側)の配管は、センサ部の圧力損失の流量特性グラフおよびIN側直管部と精度のグラフを確認ください。
- ・配管サイズを急激に絞り込んだりしないでください。
- ・表示一体型のモニタ部は回転可能です。反時計回りに90°、時計回りに225°、45°刻みです。過大な力で無理に回転させようとするとストッパーが破損する可能性がありますので、ご注意ください。



番号	名称	リード線色	機能
1	DC(+)	茶	DC12~24 V
2	NC/OUT2	白	未接続/スイッチ出力2(SIO)
3	DC(-)	青	0 V
4	OUT1	黒	スイッチ出力1

番号	名称	リード線色	機能
1	L+	茶	DC18~30 V
2	NC/OUT2	白	未接続/スイッチ出力2(SIO)
3	L-	青	0 V
4	C/Q	黒	補償データ(IO-Link)/スイッチ出力1(SIO)

※：PF3W7シリーズに付属されているMBコネクタ付リード線を使用する場合があります。

コネクタの締付けは、手で行ってください。

■設置方法

ブラケット取付(PF3W704/720/740の場合)
ブラケットを取付けねじ(M4相当：4本)で取付けてください。
流量調整弁付の場合は、8本の取付けねじで設置してください。
ブラケット板厚は、約1.5 mmになります。

ブラケット取付(PF3W711の場合)
ブラケットを取付けねじ(M5相当：4本)で取付けてください。
ブラケット板厚は、約2 mmになります。

直接取付(PF3W704/720/740の場合)
取付けの際には、タッピングねじ(呼び径：3.0、4本)で設置してください。
流量調整弁付の場合は、8本の取付けねじで設置してください。
締付トルクは、0.5~0.7 N・mとしてください。

直接取付(PF3W711の場合)
取付けの際には、タッピングねじ(呼び径：4.0、4本)で設置してください。
締付トルクは、1.0~1.2 N・mとしてください。

直接取付の場合は、タッピングねじ使用のため、複数取付けは、取外しができなくなりますのでご注意ください。

取付穴加工寸法や、ねじ込め穴および深さは、外形寸法図を参照ください。
詳細なデータについては、製品カタログもしくは当社ホームページ
(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただけますのでご利用ください。

■配管方法

製品を配管する際には、配管部と一体の金属部分(配管するアタッチメント)にスナバを掛けて行ってください。
それ以外にスナバを掛けることでスイッチ破損の原因になります。
特にMBコネクタ部にスナバが当たらないようにしてください。
コネクタ部破損の原因になります。



ねじの呼び	締付トルク
Rc1(NPT)3/8	15~20 N・m
Rc1(NPT)1/2	20~25 N・m
Rc1(NPT)3/4	28~30 N・m
Rc1(NPT)	36~38 N・m
Rc1(NPT)1/4	40~42 N・m
Rc1(NPT)1/2	48~50 N・m

配管の際には、配管を手締め後、ボディ六角面を適正なスナバで2~3回転締め込んでください。
締付トルクの目安は右表の通りです。
締付トルク範囲を超えて締付けした場合、スイッチが破損する可能性があります。
また、締付トルク範囲未達で締付けた場合、接続し部が緩む場合があります。

配管の際には、シールテープが入らないようにしてください。
配管接続は緩みなどで流体の漏れがなくなります。

■流量の調整方法(流量調整弁付の場合)

- ①弁のつまみを回して目的の流量になるよう調整してください。
- ②調整後は必ず水漏れが発生していないことを確認してください。
(水漏れが発生した場合は数回弁を開け閉めしてから再調整し、水漏れがないことを確認してください。)
- ③必要に応じてロッキングリングを締めて弁の固定をしてください。

流量調整弁は日常的に繰返し調整をする用途向けの設計をしておりません。
頻繁に調整を行うと内部パッキンの摩耗などにより水漏れを起す場合があります。

■配線方法

コネクタの接続について
コネクタの着脱作業は電源を切断した状態で行ってください。
配線は単線の配線経路を使用してください。動力線や高圧線と同一配線経路を使用すると、ノイズによる誤作動の原因となります。

市販のスイッチング電源を使用する場合は、必ずFG端子に接地をしてください。市販のスイッチング電源に接続して使用する場合は、スイッチングノイズが重畳され、製品仕様を満足できなくなります。その場合は、スイッチング電源との間に、ラインノイズフィルタ・フェライトなどのノイズフィルタを挿入するか、スイッチング電源よりシリウス電源に変更してご使用ください。

番号	名称	リード線色	機能
1	DC(+)	茶	DC12~24 V
2	NC/OUT2	白	未接続/スイッチ出力2(SIO)
3	DC(-)	青	0 V
4	OUT1	黒	スイッチ出力1

番号	名称	リード線色	機能
1	L+	茶	DC18~30 V
2	NC/OUT2	白	未接続/スイッチ出力2(SIO)
3	L-	青	0 V
4	C/Q	黒	補償データ(IO-Link)/スイッチ出力1(SIO)

※：PF3W7シリーズに付属されているMBコネクタ付リード線を使用する場合があります。

コネクタの締付けは、手で行ってください。

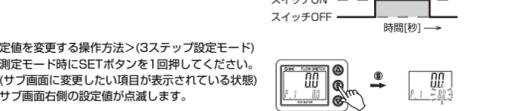
流量の設定

■測定モードとは

電源投入後、流量を検出し表示やスイッチ動作を行っている状態を指します。
目的に応じて設定の変更やその他の機能を設定するモードに移行することができる基本モードです。



工場出荷時の設定
流量が設定値を超えるとスイッチがONします。
流量が設定値から応差以上下がると、スイッチがOFFします。
右図に示す動作にて支障のない場合は、そのままご使用ください。



②UPまたはDOWNボタンを押して、設定値を変更してください。
UPボタンで設定値の増加、DOWNボタンで設定値の減少ができます。
・UPボタンを押すと数値が増加し、押し続けると連続して増加します。



・DOWNボタンを1回押すと数値が減少し、押し続けると連続して減少します。

③SETボタンを押すと設定が完了します。
ウインドコンパレータモードは、設定した流量範囲(P1LからP1Hまでの間)でスイッチが動作します。
上記の設定方法と同様にP1L(スイッチ動作下限)とP1H(スイッチ動作上限)の設定を行ってください。(反転出力を選択している場合は、n1Lとn1Hになります。)

精算出力機能については、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただく、もしくは、お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

2出力仕様をご使用の場合は、[P_2]または[n_2]が表示されますので、引き続き設定を行ってください。
温度センサ付の場合は、[t_n]が表示されます。温度が設定値以下でスイッチがONします。
※：設定値の変更中に30秒間無操作が続くと設定値が点滅状態となります。

機能の設定

■ファンクション選択モードとは

測定モードにてSETボタンを3秒以上5秒未満押すと、メイン画面に[F□□]が表示されます。
この[F□□]を表示し、それぞれの機能の設定を変更するモードを指します。
ファンクション選択モード時にSETボタンを2秒以上押すと測定モードに戻ります。



■工場出荷時の設定

工場出荷時は次のように設定されています。本設定にて支障のない場合は、そのままご使用ください。
設定を変更してご使用の場合は、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただく、もしくは、お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

項目	工場出荷時の設定
[F 0]	単位切替機能なし [Unit] 表示単位の設定 [1] L/min、C [NoP] スイッチ出力PNP/ANPN切換 [PnP] PNP出力
単位切替機能あり	[Unit] 表示単位の設定 [G] gal/min、C [NoP] スイッチ出力PNP/ANPN切換 [PnP] PNP出力
単位切替機能なし	[dU1] OUT1の出かモード [HYS] ヒステリシスモード [1ot] OUT1のスイッチ動作 [1] P 正転出力
[P_1] OUT1の設定値	定格流量範囲最大値の50% [2.0] 2.0 L/min(4 Lタイプ) [8.0] 8.0 L/min(16 Lタイプ) [20.0] 20.0 L/min(40 Lタイプ) [50] 50 L/min(100 Lタイプ) [125] 125 L/min(250 Lタイプ)
[H_1] OUT1の応差	定格流量範囲最大値の5% [0.20] 0.20 L/min(4 Lタイプ) [0.8] 0.8 L/min(16 Lタイプ) [2.0] 2.0 L/min(40 Lタイプ) [5] 5 L/min(100 Lタイプ) [12] 12 L/min(250 Lタイプ)
[dH1] ONデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[dL1] OFFデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[CoL] OUT1の表示色	[1SoG] ON時：緑、OFF時：赤(OUT1)
単位切替機能あり	[dU1] OUT1の出かモード [HYS] ヒステリシスモード [1ot] OUT1のスイッチ動作 [1] P 正転出力
[P_1] OUT1の設定値	定格流量範囲最大値の50% [2.0] 2.0 L/min(4 Lタイプ) [2.12] 2.12 gal/min(16 Lタイプ) [5.3] 5.3 gal/min(40 Lタイプ) [13.2] 13.2 gal/min(100 Lタイプ) [125] 125 L/min(250 Lタイプ)
[H_1] OUT1の応差	定格流量範囲最大値の5% [0.05] 0.05 gal/min(4 Lタイプ) [0.21] 0.21 gal/min(16 Lタイプ) [0.5] 0.5 gal/min(40 Lタイプ) [1.3] 1.3 gal/min(100 Lタイプ) [3] 3 gal/min(250 Lタイプ)
[dH1] ONデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[dL1] OFFデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[CoL] OUT1の表示色	[1SoG] ON時：緑、OFF時：赤(OUT1)
温度センサなし/単位切替機能なし	[dU2] OUT2の出かモード [HYS] ヒステリシスモード [2ot] OUT2のスイッチ動作 [2] P 正転出力
[P_2] OUT2の設定値	定格流量範囲最大値の50% [0.5] 0.5 gal/min(4 Lタイプ) [2.12] 2.12 gal/min(16 Lタイプ) [5.3] 5.3 gal/min(40 Lタイプ) [13.2] 13.2 gal/min(100 Lタイプ) [125] 125 L/min(250 Lタイプ)
[H_2] OUT2の応差	定格流量範囲最大値の5% [0.20] 0.20 L/min(4 Lタイプ) [0.8] 0.8 L/min(16 Lタイプ) [0.21] 0.21 gal/min(16 Lタイプ) [0.5] 0.5 gal/min(40 Lタイプ) [1.3] 1.3 gal/min(100 Lタイプ) [3] 3 gal/min(250 Lタイプ)
[dH2] ONデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[dL2] OFFデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[CoL] OUT2の表示色	[1SoG] ON時：緑、OFF時：赤(OUT2)
温度センサあり	[dU2] OUT2の出かモード [HYS] 温度ヒステリシスモード [2ot] OUT2のスイッチ動作 [2] n 反転出力 [tn_2] OUT2の設定値
[H_2] OUT2の応差	定格流量範囲最大値の50% [5.0] 5.0 L/min(シリウス共通)
[dH2] ONデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[dL2] OFFデレール時間の設定	[0.00] 0.00 s
[CoL] OUT2の表示色	[1SoG] ON時：緑、OFF時：赤(OUT2)
[F 3]	[FIL] デジタルフィルタ設定 [1] 0.1 s
[F 1]	[SbU] サブ画面 表示項目設定 [dEF] 標準(OUT1の設定値表示) ※：温度センサなしの場合 [dEF] 標準(流体温度表示) ※：温度センサありの場合
[F 30]	[SAVE] 精算保持設定 [OFF] 保持なし
[F 80]	[dSP] 表示OFFモード [on] 通常表示
[F 81]	[Pn] 輪転番号使用設定 [oF] 使用しない
[F 82]	[ALL] 全項目設定 [oF] 設定しない
[F 88]	[ESQ] OUT出力試験モード設定 [n] 通常出力
[F 89]	[In] 出荷状態への復帰 [oF] 復帰しない

■サブ画面の表示内容について

測定モードにてUPまたはDOWNボタンを押すと、サブ画面の表示内容を一時的に切換えることができます。
切換えしてから30秒後に自動的に[F10]にて設定されている表示内容に復帰します。
(16 L/minタイプの場合は、F)



※：[F10]サブ画面の設定によって、サブ画面に任意の表示方法を1つ追加することができます。
任意表示設定時、サブ画面の表示も切換えた場合は、30秒後に任意に戻ります。
(工場出荷時は、任意表示なしで設定されています。)

その他の設定

○スナップショット機能

現在の流量/温度値をスイッチ出力ON/OFF時に設定することができます。
設定値と応差を設定する際、UPとDOWNボタンを同時に1秒以上長押しするとサブ画面(右)の設定値が[-]と表示され、自動的に現在の流量/温度値に代わります。

○ピーク値/ボトム値表示機能
電源投入状態で最高(最低)流量/温度を検出して更新しています。
測定モードにてUPまたはDOWNボタンを押してサブ画面に表示させることができます。

○キーロック機能
上記設定を行う場合は、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただく、もしくは、お買い上げいただいた販売店にお問合せください。

保守

停電や電圧が強制的に遮断された場合の復帰方法
本製品に関しては、停電以前の状態に保持されています。
製品の出力状態は、基本的に停電以前の状態で復帰しますが、ご使用の環境により変化する場合がありますので、ご使用設備全体の安全を確認した後、操作してください。

仕様

IODDファイルは、当社ホームページ(URL <https://www.smcworld.com>)からダウンロードできます。
製品仕様に関する詳細なデータについては、製品カタログもしくは当社ホームページ
(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただけますのでご利用ください。

外形寸法図

各製品の外形寸法図に関する詳細なデータについては、製品カタログもしくは当社ホームページ
(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただけますのでご利用ください。

トラブルシューティング

■エラー表示機能
異常やエラーが発生したときに、誤りの箇所や種別を表示します。

エラー名称	エラー表示	内容	処置方法
OUT1過電流エラー		スイッチ出力の負荷電流が最大値を超えています。	電源をOFFして、過電流が発生した原因を排除し、再度電源を投入してください。
OUT2過電流エラー		スイッチ出力の負荷電流が最大値を超えています。	流量を範囲内に入れてください。
精算流量オーバー		流量が定格流量範囲の最大値の140%以上流れています。	精算流量をリセットしてください。(SETとDOWNを1秒以上押しします。)
精算流量オーバー		精算流量範囲がオーバーしています。(流量レンジにより、小数点の位置が変わります。)	精算流量をリセットしてください。(SETとDOWNを1秒以上押しします。)
温度上限オーバー		流体温度が100℃を超えています。	流体温度を下げてください。
温度下限アンダー		流体温度が10℃以下に低くなっています。	流体温度を上げてください。
システムエラー		内部データエラーの場合、表示されます。	電源をOFFして、再度電源を投入してください。復帰しない場合は、当社での調査が必要となります。
バージョン不一致		マスタとのIO-Linkバージョン不一致。 マスタのバージョンが1.0なので不一致です。	デバイスに合わせ、マスタのIO-Linkバージョンを合わせてください。

上記処置方法を行っても復帰しない場合や、上記以外のエラー表示が発生した場合には、当社での調査が必要となります。

トラブルシューティングに関する詳細なデータについては、当社ホームページ
(URL <https://www.smcworld.com>)より詳細な資料を入手いただけますのでご利用ください。

お客様相談窓口	フリーダイヤル ☎ 0120-837-638
---------	------------------------

© この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
© 2019-2022 SMC Corporation All Rights Reserved